最近の特異火災から
伊東市・松原火災の概要

伊東市消防本部

はじめに

昨年12月15日20時05分ころ，伊東市中央町キミサワ伊東丸一薬局から出火，風速7.7m/s以上の風の下に延焼拡大し，20時34分175m離れた松原本町に飛火，翌16日午前1時15分鎮火した火災が発生した。

以下出火した中央町を第1現場，飛火により出火した松原本町を第2現場とする。

1. 火災の概要

(1) 出火の場所

発生場所　伊東市中央町456番地の24
キミサワ伊東丸一薬局

所有者　株式会社キミサワ
代表取締役　君澤藤一
店　長　諏訪正彦

(2) 出火月日　昭和63年12月15日
出火時刻　20時05分ころ
覚知時刻　20時10分
放水開始時刻　20時14分
飛火火災出火時刻　20時34分
飛火火災覚知時刻　20時36分
火勢鎮圧時刻　22時11分
鎮火時刻　1時15分（12月16日）

(3) り災状況及び損害見積額

(4) 死傷者

ア　死者　なし

イ　負傷者　消防団員8名

り災状況及び損害見積額

	焼損区分	棟数	り災状況		焼損面積m²	損害見積額（千円）			
			世帯数	人員		計	建物	収容物	工作物等
第1現場（中央町）	全焼	8	6	19	1,572.639	274,581	120,361	154,220	
	半焼	1	1	2	40.0	8,831	6,684	2,147	
	部分焼	12	11	44	60.0	52,799	34,620	18,179	
小計		21	18	65	1,672.639	336,211	161,665	174,546	
第2現場（松原本町）	全焼	17	28	54	3,979.346	408,728	277,773	130,955	
	半焼	1	6	10	89.1	46,479	20,089	26,390	
	部分焼	7	8	19		600	497	103	
小計		25	42	83	4,068.446	455,807	298,359	157,448	
㈱東京電力	工作物					15,800			15,800
㈱NTT	工作物					1,575			1,575
合計		46	60	148	5,741.085	809,393	460,024	331,994	17,375

(5) 出火原因

出火原因については，火災鎮火後，消防・警察の合同検証で，出火場所とみなされるキミサワ伊東丸一薬局調剤室を発掘したが，直接決め手となる物的証拠は発見されておらず，現在調査中である。

(6) り災地の位置

第1現場・第2現場とも商業主体の繁華街である。

第1現場は，ＪＲ伊東駅の南東412mにありこの付近は商店・遊技場・飲食店が林立しており，キネマ通りアーケードと中央商店街のアーケードが交差する伊東市随一の繁華街である。

第2現場は，第1現場から北東175mに位置し，中心部に旅館や商店，表通りには飲食店などが建ち並び，国道135号に沿っては店舗が軒を連ねている。

(7) 消防部隊の活動状況

ア 出動部隊

第1出動	20時10分	11台
第2出動	20時14分	8台
第3出動	20時25分	5台
特命出動	20時40分	1台
はしご車出動	21時07分	1台
応援出動	21時09分	9台

イ 出動人員

伊東市消防本部・消防署	96名
伊東市消防団	482名
応援消防署・消防団	172名
関係機関	707名
合計	1,458名

2. 出火時の状況

(1) 発見，初期消火の状況

出火時，キミサワ伊東丸一薬局には，店長と店員及び客2名の4名がいた。

客の2名が，店内奥の調剤室が煙っぽいのに気づき店員に知らせ，店長が調剤室のドアを開けたところ奥がオレンジ色に見え炎が上方まで上がっているのを確認，火災を発見している。

店長は，すぐ洗面器に水を入れ調剤室の初期消火にあたったが消えないため，消火器を借りに外へ出たところ，消火器を持った人がいたので一緒に店内に戻ったが，すでに調剤室は火の海で消火器では消火できない状態となっていた。

この頃，男の人が店内の商品を外へ出してくれていたが，火が拡大していくのが分かり「もうだめだ。」と思い消防車の来るのをぼう然として待っていた。

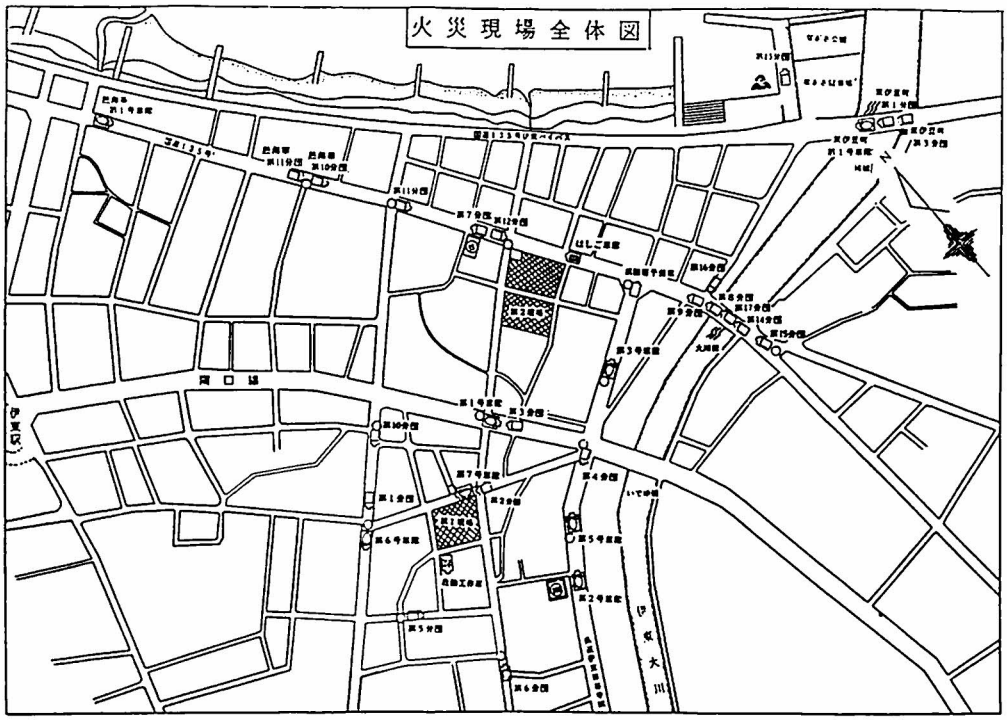
店長が初期消火中，薬局に警備会社から「火災警報が鳴っている。」と電話があり，店員は「調剤室が火事です。」と答え，警備会社から「消防署に電話する。」と言ったので，薬局からの通報はしていない。

(2) 延焼拡大の状況

この火災は，一つのブロックに密集して建物が建築されており，各建物の外側からはブロック内に進入出来ない街区内火災であった。

出火建物は木造2階建で，店舗の一番奥の調剤室が火元とみられる。

奥から出火しているため，北側ニューキネマパチンコ店と，南側梅屋菓子店には，消防隊到着時すでに延焼しており，折りからの強風と乾燥下において火災は一挙に拡大していった。



隣接建物への延焼中には，火の粉が盛んに発生していた。

このため風下の175m離れた木梨ビル（鉄筋コンクリート造，3階建）の外壁に火の粉があたり下に落ちる様子を付近の住民は「花火のナイヤガラの滝を見ているようだった。」と話していたことから第2現場の延焼は，この付近からと思われる。

第2現場も街区内火災と瞬間最大風速18.1m/Sのため一挙に拡大していった。

3. 消火活動の状況

消防隊到着時，出火建物のキミサワ伊東丸一薬局店内は，すでに火に包まれ2階軒先からアーケード内に炎と濃煙が噴出し，火災の最盛期に近い状況にあった。

先着した隊は，それぞれ北側と南側建物の延焼阻止と，連結送水管を活用してのアーケード上からの防ぎょにあたったが，すでに街区中央は燃え抜けたと思われ，火の粉が風にあおられ飛散していた。

後着の隊は，風下の北東を中心に筒先配備をし防ぎょにあたったが，20時36分風下の175m離れた松原本町へ飛火した。

20時14分に第2出動，20時25分に第3出動指令完了済みで，現場到着にあわせ第2第3方面隊消防ポンプ車を，第2現場に部署させ防ぎょにあたった。

第2現場も街区内部からの火災のため，防ぎょは「旅館真清館」前の市道不動前通り（幅員3.7m）に延焼阻止線を設定し，防ぎょに全力を傾注すると同時に，飛火火災を防ぐため風下側にも消防ポンプ車を部署させ防ぎょにあたった。

大量の放水にもかかわらず，瞬間最大風

消　防　活　動　経　過

時分	活動経過
20時10分	覚知→出動　第7・6・2・1号車工作車
14	第7・6・2号車救助工作車現場着
14	第二出動　第5号車出動
14	消防団第二・第三方面隊出動指令
17	第1号車現場着
24	第5号車現場着
24	付近住民へ飛火の消火協力を現場で広報実施
25	飛火警戒にあたれ
25	非番員全員非常招集
25	第三出動　第3号車出動
25	第四方面隊出動指令
36	齋藤燃料店付近飛火あり延焼中119入電
40	特命出動　予備車出動
45	市職員・消防職員は出動するよう広報実施
56	第3号車現場着
58	予備車現場着
59	阿部医院裏負傷者2名あり救急車出動
21時06分	第2号車・第2現場へ転戦
07	木梨ビル三階・数名要救助者あり救助中
07	はしご車出動
09	第1号車・第2現場へ転戦
09	指揮本部上田ガソリン前に移動設置
09	第2現場の付近住民へ避難広報実施
09	熱海市・東伊豆町応援要請
10	はしご車現場着
42	熱海市から3隊出動中
49	東伊豆町消防署隊現場着
22時02分	住民に同報無線で避難広報実施
11	制圧下に入る
26	第1現場鎮火状態
28	第2現場で消防団員負傷救急車出動
42	第5号車・第2現場へ転戦
51	応援隊　熱海市・東伊豆町　引き揚げ
1時15分	鎮火

速18.1m/sと，大規模建物の旅館「真清館」が延焼したため，不動前通りをはさんだ木造2階建物，店舗併用住宅の2階部分にも着火，このブロックへも延焼していった。

その後は，国道135号（幅員10.4m）に延焼阻止線を設定，熱海市・東伊豆町両消防隊の応援を得て総力を挙げ防ぎょにあたり，22時02分制圧下に入り，翌16日午前1時15分鎮火したものである。

4. 広報について

20時24分，消防本部広報車で第2現場付近住民に，火の粉が飛んでいるので水バケツ・水道水による飛火の消火協力の広報を実施し，21時09分には子供や老人の早期避難の広報を実施した。

他にも同報無線で，付近住民の避難，消防関係者及び市職員招集の広報を実施した。

5. 教訓

(1) 街区内火災で火災が中期の場合，特に木造家屋密集地区では，消火が極めて困難である。

このような街区が市内に数多くあるため，今後，対応策を研究する必要がある。

(2) 旅館の宿泊者・病院の入院患者や災害弱者等にも負傷者がなかったことは，延焼危険のない旅館等に早期に避難したためであり，今後も「安心して住める町伊東」「安心して泊まれる伊東温泉」を目標に指導を強化していく必要がある。